

お知らせ

ユニークな啓発事業に みなさんのチカラをお貸しください

“市民目線”の男女共同参画の啓発事業を募集しています

市では、誰もがいきいき輝く男女共同参画社会づくりのため、“市民目線”のユニークな啓発事業を企画・実施していただけるグループを募集しています。

- 【対象】市内で活動している5人以上の団体・グループ・NPO等
- 【実施場所】長浜市内
- 【実施方法】提出された企画をもとに選考し決定します。選ばれた事業は、市委託事業として実施していただきます。
- 【応募方法】申込書（計画書等）を提出してください。まずは下記へ資料請求を。
- 【応募期限】4月1日（金）～5月13日（金）
- 【応募先】〒526-8501長浜市高田町12-34
長浜市人権施策推進課
TEL65-6560 FAX64-0396
Eメール：jinken@city.nagahama.lg.jp



▲平成22年度事業「子育て孫育て講演会」より

例えば・・・講演会やセミナー、体験、シンポジウム等々。
 ・スタイル・・・講演会やセミナー、体験、シンポジウム等々。
 ・テーマ・・・ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）や、男女の人権、DV（ドメスティック・バイオレンス）等々。子育てや地域活動、まちづくりに男女共同参画の視点を盛り込んでOKです。まずは資料をご請求ください。

一人で悩まないで！
大切なあなたを応援します

女性の悩み相談

～4月から開設時間が増えました～

夫婦関係や子育て、自分自身のことなど、あなたの悩みをいっしょに考えます。ご夫婦やカップルでの相談もお受けしています。

- 【とき】毎月第1火曜日 10時～14時 ※変更することがあります
毎月第3土曜日 12時～16時
- 【ところ】長浜市民交流センター 相談室（地福寺町4-36）
- 【相談員】女性の臨床心理士
- 【申込】☎65-6556（予約専用電話）

要予約・託児あり



お知らせ

市立病院通信 ①

お元気ですか



長浜市病院事業管理者
兼市立長浜病院 院長
野田 秀樹 先生

こんにちは 市立長浜病院です

このコーナーでは、市立長浜病院のドクターの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ“健康豆知識”を紹介します。

皆さん、市立長浜病院には40種以上の職種があるということをご存知ですか？その中の医師職だけを見ても、22の診療科があり、その診療科はさらに多種の専門医から構成されています。病院全体では1000人近い仲間がいますが、職員一人ひとりが自分の得意領域を持って医療に従事しています。すなわち病院は専門職の集団であり、職員一人ひとりがそれぞれ異なる専門職といたっても過言ではありません。本院では専門職集団として、職員一同、その自覚と自己研鑽を積み

湖北地域の中核病院として常にみなさんに満足していただける質の高い病院創りを心がけています。これまで、地域がん診療連携拠点病院の指定をはじめ、近隣病院に先駆け開放型病棟の併設、また滋賀県で最も早い日本医療機能評価機構の認定（全国で26番目）や、滋賀県で唯一の日本人間ドック学会による機能評価を受けるなど、常にチャレンジし続けてきました。これからのこの精神を持ち続け、多士済々、いろいろな能力を持った人が集まり楽しく働ける病院を創っていきたくと考えています。

問 市立長浜病院（☎68-2300代表）

座ぶとん会議

16

「我が家の防火から地域へ 女性の力で広めよう防火の輪」

長浜市女性防災・防火クラブ

第16回座ぶとん会議は、「長浜市女性防災・防火クラブ」の皆さんと12月11日（土）に湖北地域消防本部の会議室で行いました。長浜市女性防災・防火クラブは、女性の視点から地域防災・防火への取り組みや活動をいただいて、市民一人ひとりの防火意識を高めることが重要であるとお話をいただきました。また、万が一、火災が発生した場合には、火災の発生に早く気づき、初期消火を素早く行うこと、被害を最小限に抑えることができること、警報器の設置の必要性及び啓発の必要性について意見をいただきました。これにつきましては、消防本部と連携して「広報なごはま」などで啓発するとともに、消防本部では市内各家庭にパンフレットを配布して啓発するなど、設置に向けて周知を図ってまいります。また、災害時には小さな子どもや高齢者、しょうがい者の方々は避難が遅れて被害に遭いやすくなるため、災害時要援護者の支援体制に取り組みされている地域もありません。是非、地域の皆さんの安全・安心を確保するため、継続して取り組みをお願いしたいと思っております。

さらに、西上坂町にある姉川コミュニティ防災センターで受けられた研修が、たいへん有意義だったとお話をいただきました。当該センターは防災・防火に必要な設備を揃え、防災や防火の研究を受けていただくことのできる市民の皆さんの身近な施設です。女性防災・防火クラブの皆さんをはじめ、多くの市民の皆さんに気楽にご利用いただければと思います。

地域の皆さんが日々、平穏に暮らせるのも、消防や警察、そして皆さんの活動のおかげだと思っております。本日に皆さんの活動に感謝申し上げます。

行政は、市民の皆さんの身体、生命、財産を守ることが最大の使命ですので、日ごろから、危機管理には万全の態勢を備えていきたいと思っております。今後とも皆さんとともに、安全で安心な市政を目指していきたくと思っております。

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの生の声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

市長コラム⑩

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること



心よりお見舞い申し上げます

去る3月11日午後3時前、長浜市議会の審議中、議場がミシミンと不気味に揺れ続けました。議長「休憩」発言の後、議員や職員、私も外の階段を急いで降り、庁舎から抜け出しました。改めて地震の恐怖と緊張感を実感させられました。

この東北地方太平洋沖地震は宮城県牡鹿半島の東南東130キロ付近の海底約24キロを震源として、マグニチュード9.0の世界でも記録的な巨大地震であり、東北地方を中心に史上空前の甚大な被害をもたらしました。死者、行方不明者は数万人に達するとみられています。

多勢の被災者の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。今、大切な事は被災者の皆さんと私たちがしっかりと心の絆を結び痛ましい災害の辛さや悲しみを共有することであると思っております。

そして、国を挙げて素早く救助活動を進め被災地の皆さんの切実な毎日の暮らしの要望にしっかりと手を打ち添えていくことが大事です。市は直ちに「東

北地方太平洋沖地震に伴う支援対策本部」を立ち上げ、国からの要請を受け、被災地へ消防士や技術者、給水車と職員などを派遣し現地で必死の救済活動を続けています。長浜赤十字病院からは医師、看護師さんが出動して頂いています。

また、市民の皆さんからたくさんのお義援金の寄附や励ましのメッセージが寄せられています。この尊い「志」を災害にじつと耐える現地の皆さんにしっかりと伝えます。市民の皆さんからの暖かい励ましに心から感謝致します。

現地では、自衛隊をはじめ、警察、消防、海上保安庁、国や全国からの地方自治体、外国からの救援隊も入り本格的な救援活動が展開されています。余震の続く中での努力に心から感謝申し上げます。

この前代未聞の大災害をみんなが心を一つにして乗り越えなくてはなりません。



▲宮城県栗原市で給水支援活動中の市職員(右)